

## ディズニーランドから只見の森のレジヤールを考える

「只見の森は、ディズニーランドである。」

こう言うと、「そんな訳ないよ。」「全くちがうよ。」という反論が、すかさず飛んでくる気がします。しかし、森林生態系サービスの調査で廻れば廻るほど、私は次第に只見の森とディズニーランドには大きな共通点があるという確信に至りました。

共通点とは何でしょうか？それは、「頼みもしないのに、遠くの県から見知らぬ人がやって来て、疲れも知らずに一日中楽しそうにあちこち歩き回っているレジヤールランドである」という点です。

実際、他県人以上に、町民自身も、山菜採りや草花観察、クワガタ探し、溪流釣り、キノコ採りと、四季折々に目的を変えて只見の森を歩き回っています。しかも皆、目を輝かせています。

これは、ディズニーランドでアトラクションにならび、パレードを見て、お土産を買う人の目の輝きと比べて、何の遜色もありません。むしろ、只見の人のほうが、自然に囲まれ、健康的でリラックスした一日を送っている気がします。

もちろん、「毎年2600万人も訪れる日本最大のレジヤールランドと、20万人に満たない只見町を比べても無理がある」と言われてしまえば返す言葉はありません。観光収益で只見がディズニーを追い越すことはないでしょう。しかし、只見の人には、あえてディズニーランドを意識してほしいのです。

例えば、ディズニーランドはいつもきれいです。ゴミ一つ落ちていません。それは綿密なメンテナンスのもと、「キャスト」と呼ばれる従業員がすぐゴミを拾うからです。同じく、只見の森

もいつもきれいで、おかげでふんだんに山菜やキノコが採れます。でも森を清掃する従業員はいません。誰がきれいにしているのでしょうか。森の生態系です。深い雪が溶け、木々が芽吹き、動物や昆虫が活動する生態系の循環の中で、森はきれいになり、豊かな山の幸を我々に提供してくれるのです。「森林生態系」というキャストがサービスしているのです。従って、只見町の皆さんは森林生態系をサポートし、いつまでも恩恵が享受できるように、森と共に暮らす方法を学ばなくてはなりません。

皆さんは「レジヤール」の語源を知っていますか？ギリシャ語で「スコレー」と言います。スコレーは、実は、学校「スクール」の語源でもあります。豊かな只見の森を歩き回ること（レジヤール）も、森と共に暮らす方法を学習すること（スクール）も、ともに「スコレー」です。只見には豊かな森があり、森を学ぶための学校もあります。町

民が率先して「スコレー」にこそしみ、大自然のレジヤールランドを末永く満喫できることを祈念しております。



◀「夢の国」ディズニーランドでは多くの人々が歩き回っています



▲生態系サービス調査では、山菜採りにも幾度か同行させてもらい山の中を歩き回りました



▲森林を学ぶ拠点・只見プラセンター